

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2017年第2四半期（4月～6月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

- ドバイ警察によると、ドバイ首長国における2016年中に発生した未解決の強盗及び窃盗事件は47件で、2015年の69件に比べ減少した。また、2016年中の未解決の強姦及び誘拐事件は6%で、2015年の8%と比べ減少した。
- ドバイ警察によると、2017年上半期のドバイにおける薬物事犯は前年同期に比べて顕著な減少を見せた。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ ドバイ首長国（4月発生）

アル・クーズ地区の建設中の住宅において、インド人の男は同僚の男性と飲食中に口論となり、妻や家族の事を侮辱されたことから腹を立て、木製の棒で同男性を多数回殴打して殺害した。

○ ドバイ首長国（5月21日発生）

エミレーツヒルズの一般住宅において、清掃員のネパール人の男は仕事に行くために外出しようとしたところを恋人の女性に咎められたことから腹を立て、同女性の首を複数回締め付けるなど暴行を加えて殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（4月17日発生）

ブル・ドバイ警察署管内において、パキスタン人清掃員の男は、働いていた住宅に居住する女兒に対して、無理矢理身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（4月29日発生）

アル・ラファ地区のアパートの入口において、パキスタン人労働者の男は、自宅に帰宅しようとした男児に対して、肩を掴んで頬にキスをするなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（6月発生）

インターナショナル・シティ地区において、会社経営者の男は、女性従業員が労働契約書の翻訳業務を行うために事務所を訪れた際、後から抱き付いて身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ シャルジャ首長国（6月発生）

ヤーマック地区において、アジア人の男は、知り合った外国人少女をドライブに誘い、住宅

街で駐車した車両内で暴行を加えるなど、強いてわいせつな行為をした。

(3) 強盗

○ シャルジャ首長国 (6月7日報道)

シャルジャにおいて、アフリカ人の男3名は、車の牽引の依頼を装って、高速道路沿いの人気の無い場所に被害者をおびき出し、突然大声で脅すなどして現金を強取した。

○ アジマン首長国 (6月12日報道)

アジマンにおいて、親子の男2名は、銀行に来た客を物色した上、店から出てきた男性に近づいて、現金約2万ディルハムを強取した。

○ ラアス・ル・ハイマ首長国 (6月17日発生)

ラアス・ル・ハイマ内のショッピングセンターにおいて、アジア人の男は、会社の資金を預けるために車から降りて銀行に向かって歩いていた会社員の男性を、突然、後方から襲い、所持していた現金約29万ディルハムを強取した。また、事件発生時に逃走する犯人を追い掛ける2名のアジア人の男がいたが、いずれも犯人の逃走を手助けするための共犯者であった。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。